



インドネシアとつくばをカカオで繋ぐ

■ 実施団体：

東京フード株式会社(提案団体：茨城県つくば市)

■ 対象国・地域：

インドネシア国
ゴロンタロ州ボアレモ県

■ 現地カウンターパート

- ・ゴロンタロ州農業局
- ・ボアレモ県農業局
- ・ゴベルグループDKM社(現地パートナー企業)



■ 協力内容：

- ・現地で獲れるカカオ豆の発酵の技術指導
- ・発酵カカオ豆の品質に則した買取スキームの構築
- ・安全・安心を担保したチョコレートの作り方指導

■ 団体のこれまでの取り組み：

- ・2016年にボアレモ県を訪問し、県農業局との協議・助言やカカオ生産者の訪問、栽培状況の確認と品質向上の指導を行うとともに、同県が所有するカカオ加工場を視察した。
- ・本事業の前身となるJICA・BOPFSを実施した日本商社と協力して、ボアレモ県政府及びゴベルグループと協議を行った。

■ 事業実施の背景：

- ・インドネシアは世界有数のカカオの産地であるが、今まで付加価値を伴う作業は行われておらず、カカオ農家の所得が低かった。

インドネシアの課題と成果

課題① 現地ではカカオ豆が獲れるが、品質に関わらず重量ベースで安値で取引されており、カカオ生産農家の収入が少ない。

成果① 農家に発酵の技術指導、付加価値がついたカカオに対してインセンティブを付与する買取スキームを構築した結果、**発酵カカオ豆に携わった9割以上の農家の収入が向上した。**

課題② 対象地域はカカオ産業が盛んで、政府は輸出産業の育成を望んでいるが、同地域では輸出水準を満たすカカオ豆の加工技術が整っていない。

成果② ボアレモ県が所有する加工場及び機材のメンテナンス・改良を行い、**安全・安心品質**を担保したカカオ加工品生産に係る土台を構築した。

茨城県つくば市への波及効果



つくば市の特産品にボアレモ県産のチョコレートが選定！

- ・本事業で獲れた発酵カカオ豆を用いた「つくばe-choco」「いばらきチョコレート」が、つくばコレクション認定食品に選ばれ、市内の物産店での販売、マラソン大会などで配布されたことによって、市民に対して本事業の理解促進を促した。
- ・上記商品の他に10種類以上のボアレモ県産チョコレートを販売、つくば市・インドネシアで計7回展示会に出展したことによって、両国の産業振興に寄与した。